2011年5月31日

オーストラリア北西大陸棚WA-191-P鉱区における原油の発見について

各 位

当社（社長：古関 信）が100%出資するNippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltdは、オーストラリア北西大陸棚海域のWA-191-P鉱区（西オーストラリア・ダンピア沖150Km）に 位置するフィヌケイン・サウス構造に対し試掘井を掘削した結果、良好な砂岩貯留層において約18mの厚さで原油の存在を確認しましたのでお知らせいたします。

フィヌケイン・サウス構造は、同社が権益を保有するムティニア・エクセター油田から14km東に位置しております。
今後は商業化に向け、埋蔵量評価を実施するとともに、早期の生産開始を目指し、同油田の既存生産設備を利用する方法を含めて開発計画を検討してまいります。同油田の既存設備を利用する場合は、2013年内に生産開始という早期開発が可能となる見込みです。

当社は、オーストラリア北西大陸棚海域において生産・探鉱活動を積極的に推進しており、フィヌケイン・サウス構造での原油の発見は、今年４月のWA-290-P鉱区の試掘井における天然ガスの発見に続くものです。今後も、石油･天然ガス開発事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

以 上

添付資料

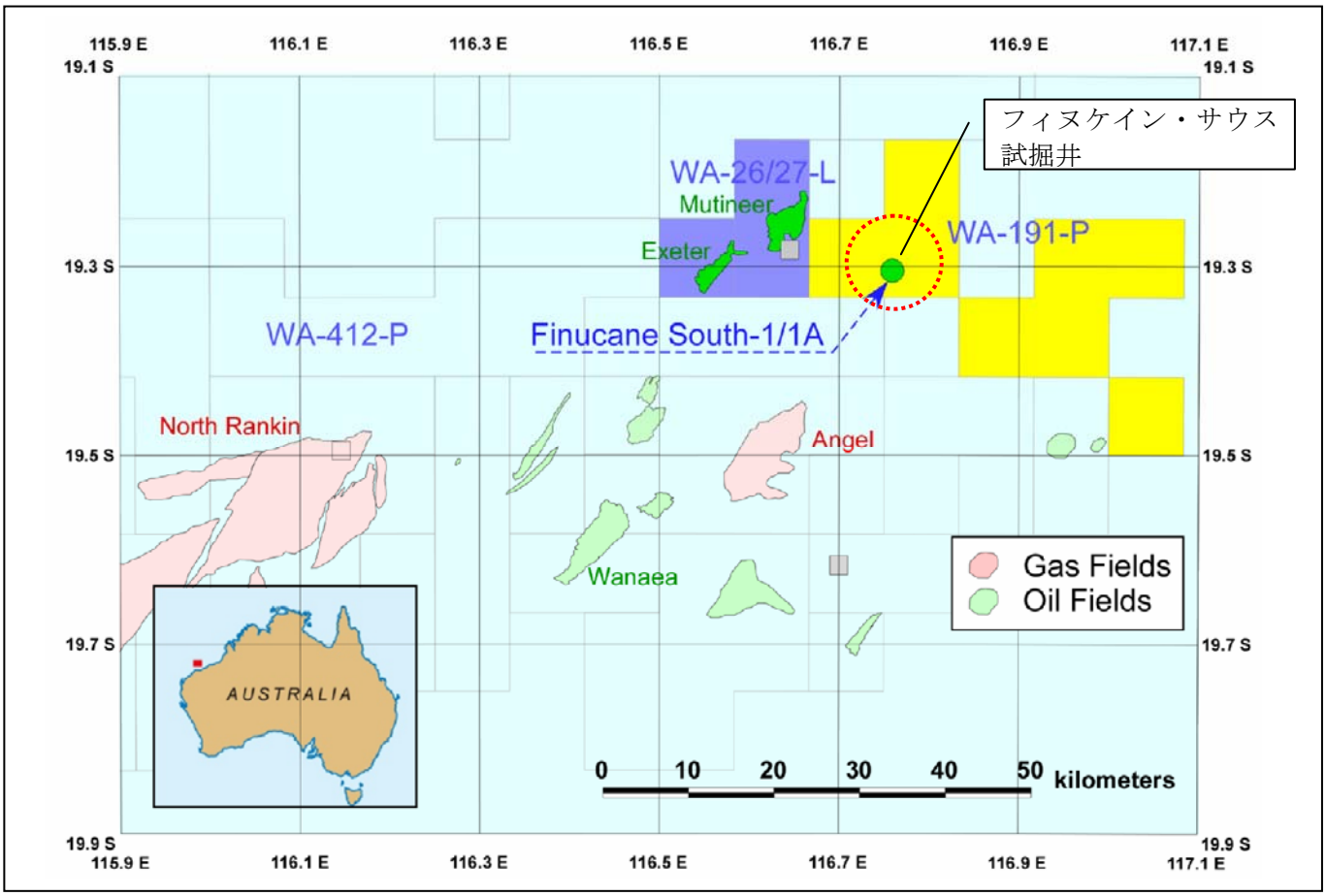
１．Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltdの概要

（１）本社：パース市（オーストラリア）
（２）Director：古関　信
（３）資本金：34,809 千豪ドル（2011 年１月１日現在、当社 100%出資）
（４）設立：1997 年４月

２．オーストラリア WA-191-P鉱区の概要

（１）対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
（２）鉱 区 名：ＷＡ－１９１－Ｐ
（３）鉱区面積：約 650ｋ㎡
（４）権益比率：Santos Ltd.(33.4%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd (25.0%)
Tap(Shelfal) Pty Ltd (8.2%)
（５）オペレーター：Santos Ltd(33.4%)

＜参考＞ムティニア・エクセター油田（Mutineer-Exeter）の概要

（１）対象鉱区：オーストラリア北西大陸棚
（２）鉱 区 名：ＷＡ－２６－Ｌ，ＷＡ－２７－Ｌ
（３）権益比率：Santos Ltd.(33.4%)
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltd (25.0%)
Woodside Energy Ltd (8.2%)
（４）オペレーター：Santos Ltd(33.4%)
（５）生産量：約4,800Ｂ/Ｄ（2010年）

WA－191－P鉱区位置